

## 令和6年度(前期) おひさま認定こども園 教育及び保育活動への評価

園長:仲村由香 主任保育士:富着聖子

おひさま認定こども園は、保育の質の向上を図るため、当園の教育及び保育の内容等について、自己評価及び外部評価(保護者による評価)を行い、その結果を公表いたします。



### 《今後の改善、取組みについて》

・教育・保育において、子どもの興味関心と年齢、子どもの実態に応じた保育への取組みを行ってきました。今後も各学年へ接続した教育及び保育の提供ができるよう取り組んでいきたい。

・安全管理については、災害発生時の対応や職員の役割分担について、日頃から意識していく必要がある。

・特別支援について、支援児が多いという園の現状から、多くの職員が支援方法や共通理解、研修への積極的参加をしていく必要がある。また、個々が生活しやすい環境づくり、安心して関われる関係性を築いていきたい。

・地域との連携や協力体制については、積極的に関わり、子育てに関する情報発信(研修案内、行事への参加呼びかけ等)、当園にできる取組みを積極的に行っていく。



達成(A) おおむね達成(B) やや不十分(C) 不十分(D)		
領域	評価項目	評価
重点目標	自然体験＝原体験を積み重ねる	C
	体づくり＝体軸体操.etc	C
	発達支援＝あいのうらいん(研修)	B
こども園における教育・保育	個々の発達や経験差を理解し、一人ひとりに合った適切な教育及び保育	B
	多様性へ配慮し、園児一人一人が伸び伸びと過ごし、安心して遊び、生活する	B
安全管理指導	災害発生に備え、防火設備、避難経路等の安全性を確保する	A
	備品、遊具等の配置、保管を適切に行い、日頃から安全環境の整備に努める	A
	災害発生に備え避難訓練を実施し、職員の役割分担、保護者等への連絡、引き渡し方法について連携を図る	B
保健管理指導	生活全体を通して健康や安全に関する管理や指導、食育の推進に努める	A
特別支援	個々の状況に応じた支援方法を職員間で共有理解し、家庭や関係機関と連携を取りながら教育及び保育にあたる	A
組織運営	全職員が組織の一員として運営に参加することを意識し、資質の向上に努めている	C
研修体制	必要な知識及び技術の修得、維持向上を図るとともに、保育の課題等への共通理解や協調性を高め、保育園全体としての保育の質の向上を図っていく	C
教育環境の整備	定期的に安全点検を実施し、施設、設備の不備改善に努める	A
家庭との連携・協力	園児の日々の様子の伝達や収集、教育及び保育の意図の説明などを通して、保護者との相互理解を図る	A
学校との連携・協力	保幼小連携を円滑に行い、継続的な交流を計画し、相互理解を深める	A
地域との連携・協力	地域の子どもが健やかに育成される環境を提供し、保護者に対する総合的な子育て支援を推進する	A

### 《保育関係者からのご意見・苦情について》

1)送迎後の子どもの安全管理、園舎前敷地で遊んでいる子どもについてご意見をいただきました。保護者へ注意喚起を呼びかけるとともに、駐車場係りとして職員配置を行い事故防止に努めています。

2)写真掲載(平等に写真を撮ってほしい)というご意見をいただきました。職員の業務負担について説明し、別業者のシステムを導入することになりました。今後はシステム移行、利用に関して説明していきたいと思えます。

今後も皆様からのご意見を大切に受け止め、より良い園づくりしていきます。

